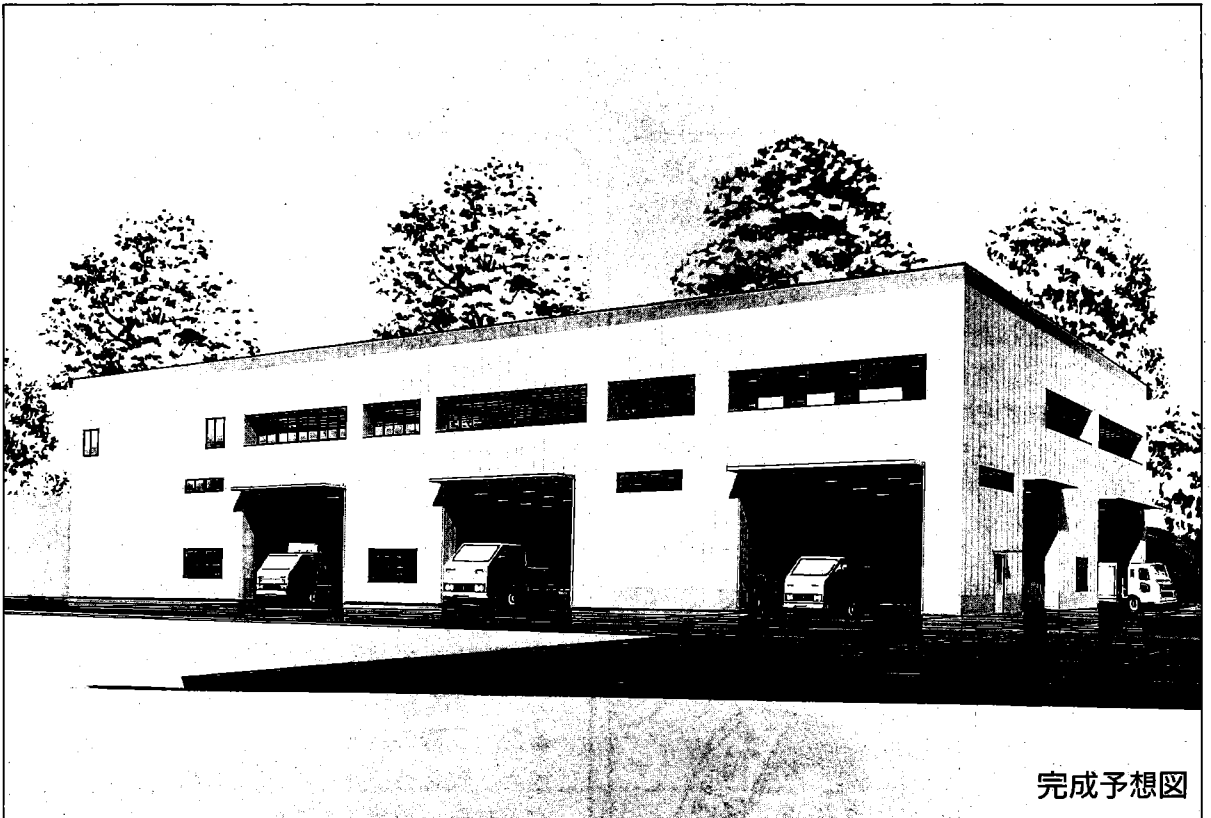


柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1993.9.1 AUTUMN VOL 20



完成予想図

リサイクルセンター試運転開始

廃棄物の再資源化は、限りある資源を保存し、快適な生活環境を守るとともに、廃棄物として処理する量を減らすための有効な手段として、多種多様な形でその取組みがなされています。

当組合では、関係四市から排出される廃棄物の再資源化と減量化を図るため、昨年の12月からリサイクルセンターの建設工事を進め、本年10月からは、関係四市で収集した資源物を搬入して、当施設の試運転を開始する予定です。

この事業を実施するには、国及び東京都の指導のもとに、現状の諸問題と将来の動向を踏まえ、関係四市をはじめTAMAらいふ21協会等とも協議を重ねてきました。

今後は、これまで関係四市が独自で行ってきた資源物の収集方法を統一して一定の基準を定め、分別

柳泉園組合管理者 末木達男

収集された資源物をさらに当施設で細分化した選別を行うことにより、付加価値を高め、流通ルートにのせることとなります。

なお、当リサイクルセンターが完成しても従前の集団回収については、これまでと同様に住民の皆様のご支援により、その拡大・強化を図り、資源回収業者の皆様にも協力をお願いしてまいります。

回収された資源物を原料（再生原料）として利用することは、エネルギーが節約できることや資源の消費量を減らすことだけでなく、廃棄物の量を減らすことによって、最終処分場の延命にもなります。また、リサイクル事業を進めるには、再生原料を用いた製品の積極的な利用も必要です。

今後とも、住民並びに事業者の皆様方には、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

きれいにゴミを出しませんか

ゴミの出し方には、それぞれのルールがあります。毎日の生活の中で「あまり」として出てくるゴミだって、収集場所が汚れたりしないような、整然としたきれいな状態で出されたいのです。そこで、正しいゴミの出し方をもう一度じっくり考えてみませんか。

★★★★★★★★★正しいゴミの出し方★★★★★★★★★

1

収集日をきちんと守る

前日から出したり、「燃えるゴミ」の日に「燃えないゴミ」を出すといったことは避けましょう。決められた日にきちんとゴミを出せるように、生活のサイクルを合わせてください。



2

分別をしっかりとこなそう

本来は「燃えないゴミ」として出すべきなのに、うっかりして「燃えるゴミ」として出してしまうケースがかなりあります。最近の複合素材の中には、どちらに分別したらいいのか判断に迷うものも少なくありません。本来は「燃えないゴミ」なのに、「燃えるゴミ」として処理されやすいのは以下のものです。

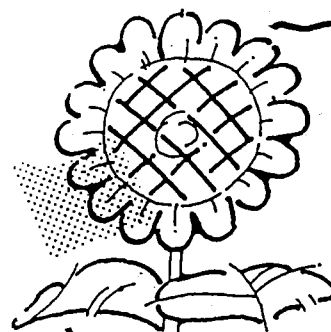
- 野菜や肉をパックする際のトレーとラップ
 - カップ麺の容器
- また、「燃えるゴミ」を入れる際にはできることなら、炭酸カルシウムが入った透明度の高い袋を使用するようにしたいものです。



3

資源物を無駄にしない。

紙、空き缶、空きビンなどは、上手にリサイクルしていけば、資源として再生利用することが可能です。紙は新聞、雑誌、ダンボールに分類し、空き缶と空きビンもそれぞれにひとまとめにして、リサイクル用として決められた日に出しましょう。組合のリサイクルセンターでお待ちしています。



職場の紙ゴミはもっとスリムにできます。

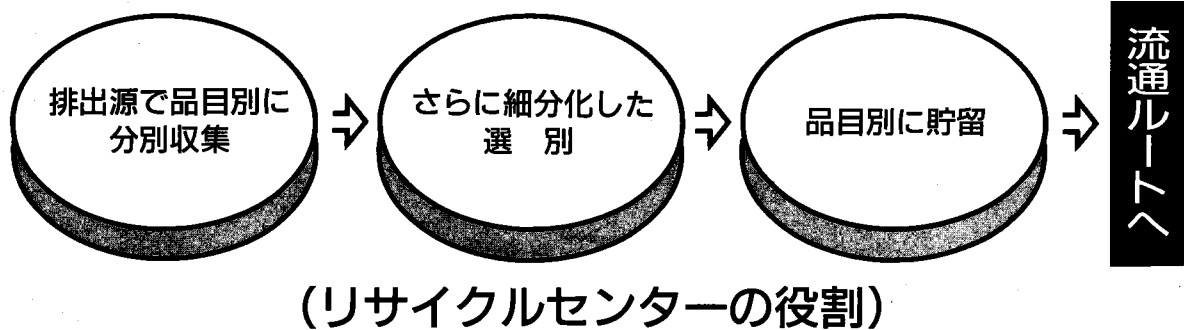
パソコン、ワープロ、ファクシミリといったOA機器の普及によって、職場での紙ゴミが非常に増えてきました。たとえば、ワープロにしても、修正液を使ってちょっと手直しすればすむものまで、わざわざもう一度プリントアウトすることも日常的に行なわれています。OA機器を有効に使うことで職場のゴミをスリム化するためには、次の3点を守っていくことが大切です。

- ①コピー用紙やパンフレットには再生紙を使用する。
- ②無駄な紙を使わないようにする。
- ③書類の裏面をもう一度活用する。

デビュー！リサイクルセンター

本格的リサイクルの実現をめざす

高度な資源回収と本格的リサイクルの実現を担うリサイクルセンターが、いよいよ10月から試運転を開始します。関係四市から排出される一般廃棄物の減量化を図るうえで欠かせない施設であり、この事業全体も「TAMAらいふ21」のモデル実験にもなっています。組合の役割としては、排出源で品目別に分別収集されたものを当リサイクルセンターでさらに選別をおこない、その付加価値を高めたいうで、流通ルートにのせることとなります。



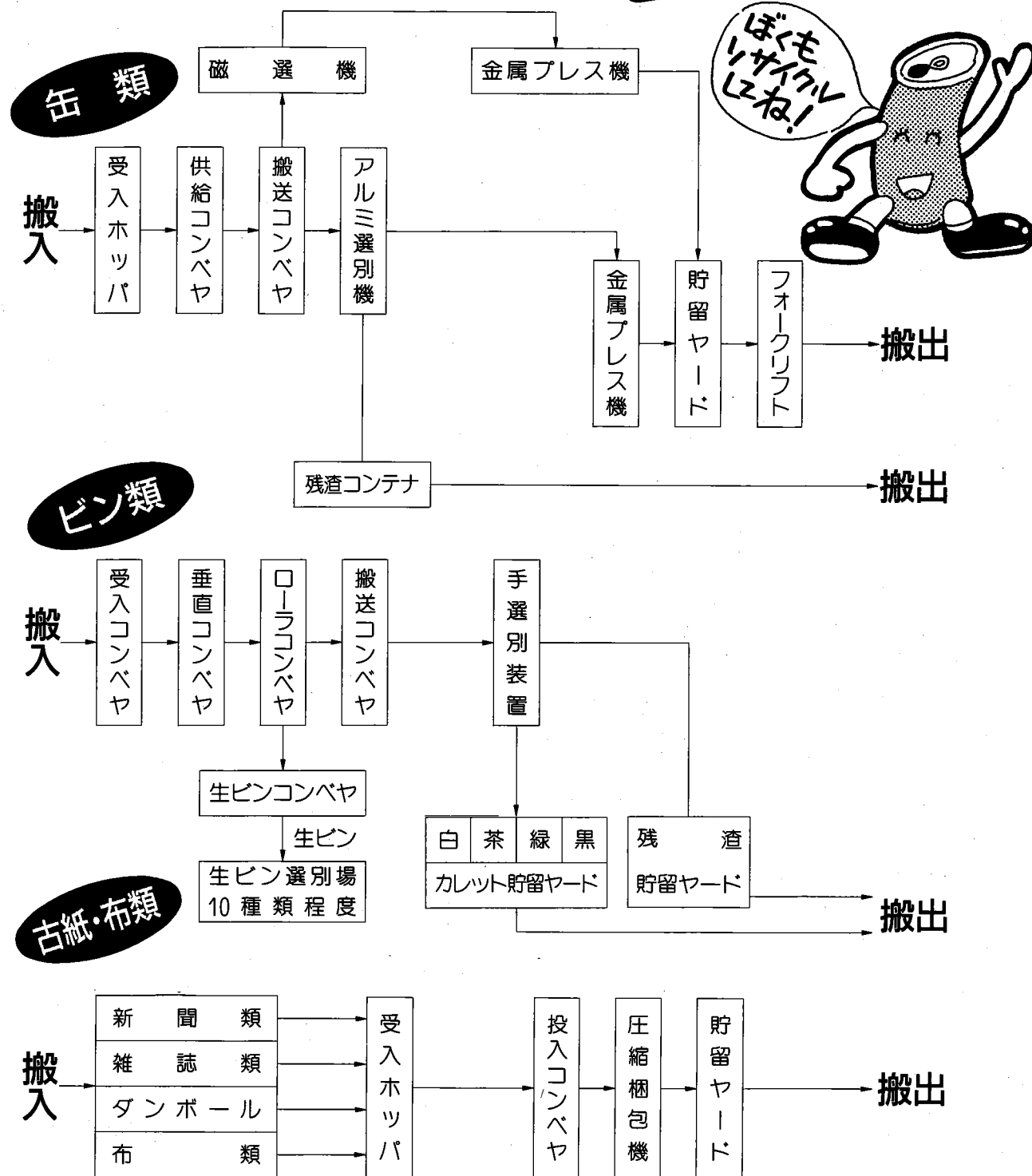
(リサイクルセンターでの選別内容)

- 缶類——缶類として一括収集されてきたものを機械的に鉄とアルミに選別した後にそれぞれ圧縮して、貯留後搬出します。
- ビン類——コンテナ容器で一括収集されたものを、最初の段階で生ビン約10種類を手選別します。残りのビン類は4種類を手選別で回収し、カレット（細かく砕いた状態）として貯留後搬出します。
- 古紙・布類——古紙類は新聞・雑誌・ダンボールの3種類に分けて搬入されます。この古紙と布類はいったん貯留ヤードに貯めた後に各々圧縮梱包し、貯留後搬出します。



リサイクル巡回博物館&フリーマーケットを開催!

楽しみながらリサイクルを体験できるイベントが10月23日~24日に柳泉園で行なわれます。主催は「TAMAらいふ21協会」。ゴミ問題を取り上げたクイズにチャレンジできるのがリサイクル巡回博物館です。ステキな賞品も用意されています。また、グラウンドに30張ほどのテントを張って開かれるフリーマーケットでは、家庭の不用品などが販売されます。不用品といっても、持ち主が変わればまだまだりっぱに使えるものばかり。誰でも気軽に参加できますので、ぜひご来場ください。

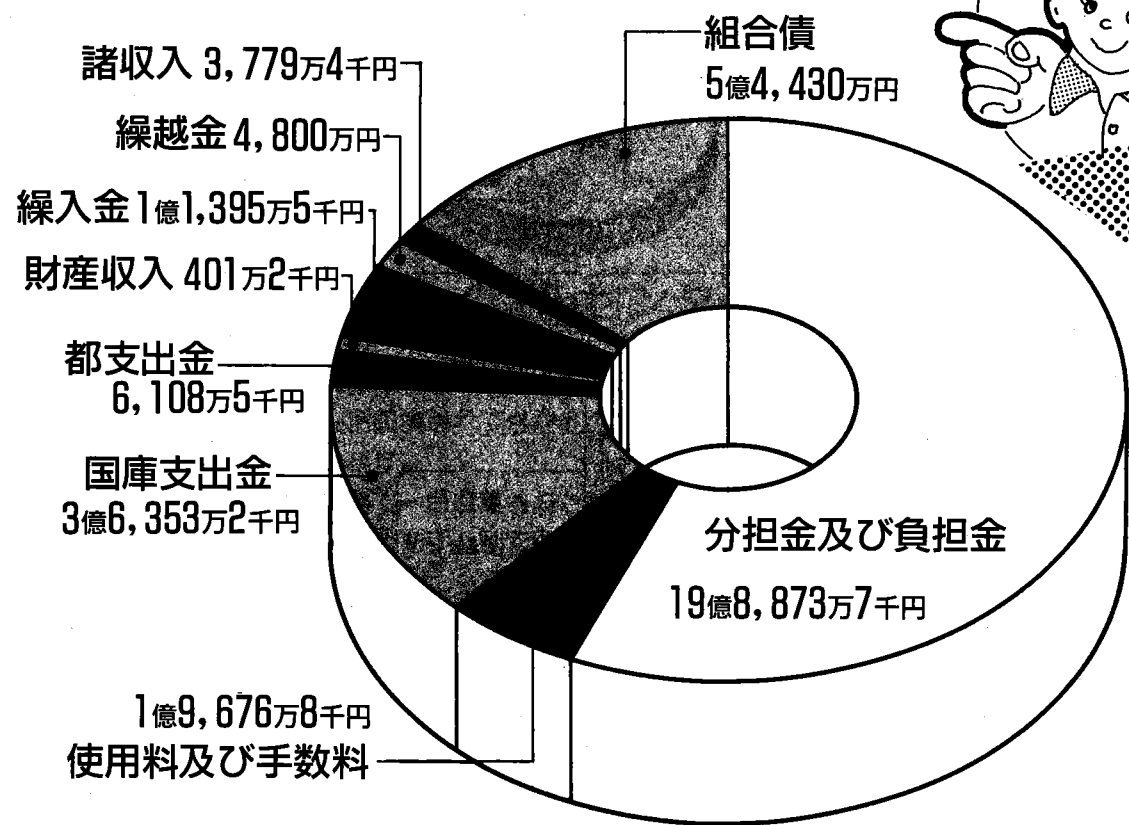


処理工程概要図

平成5年度の予算について

予算総額 **33億5,818万3千円**

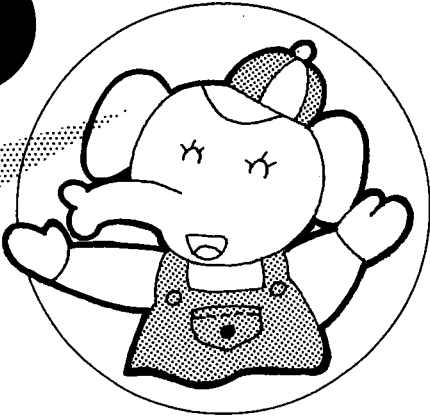
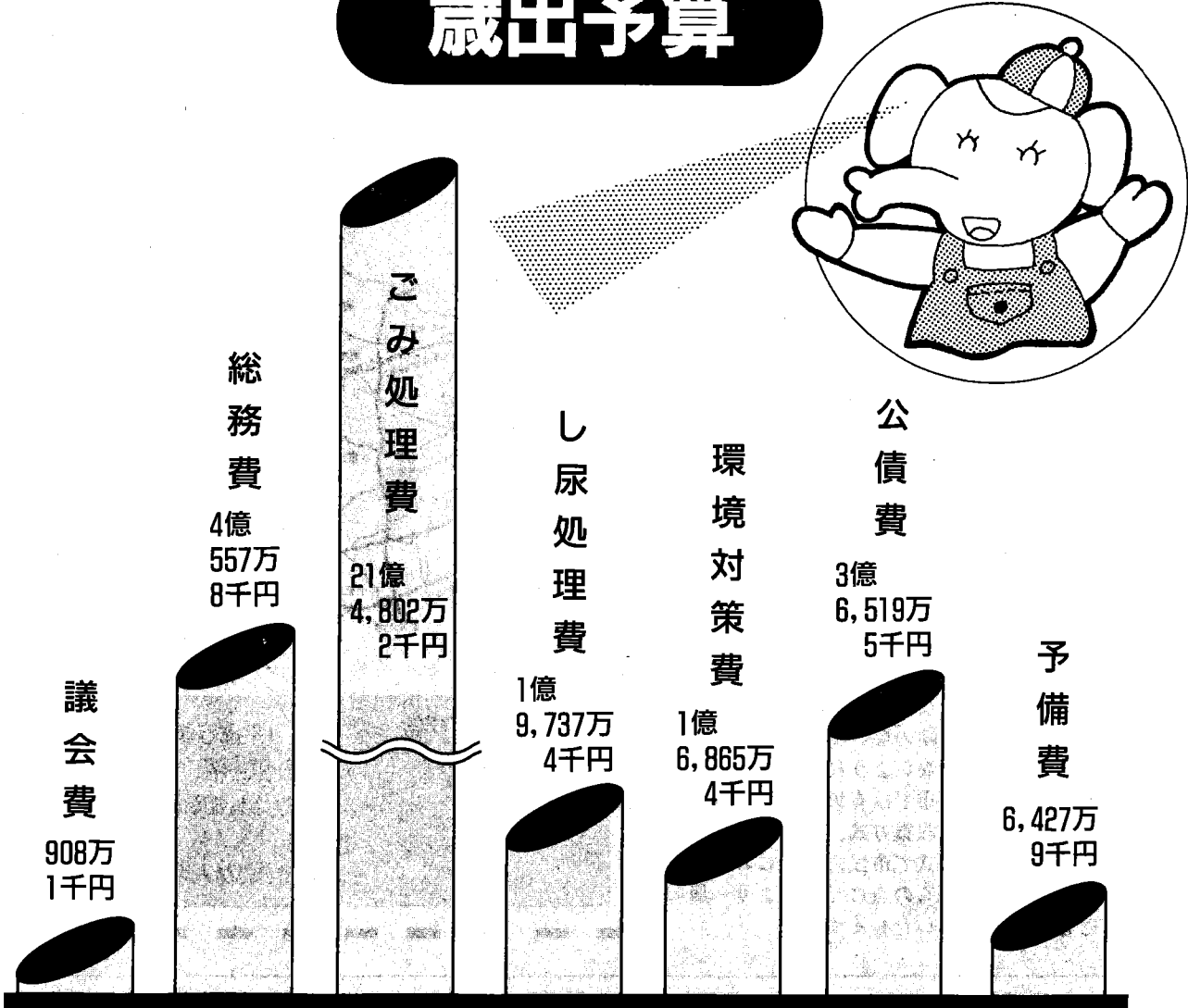
歳入予算



- ①分担金及び負担金
柳泉園組合を構成する四市の負担金、19億8,873万7千円。
- ②使用料及び手数料
体育施設の使用料及びごみ処理手数料等、1億9,676万8千円。
- ③国庫支出金
不燃物処理・資源化施設（リサイクルセンター）の建設工事に対する国の補助金、3億6,353万2千円。
- ④都支出金
国庫支出金と同様に、リサイクルセンターの建設工事に対する都の補助金、6,108万5千円。
- ⑤財産収入
基金の運用利子収入、401万2千円。
- ⑥繰入金
基金から一般会計への繰入れ金、1億1,395万5千円。
- ⑦繰越金
平成4年度からの繰越金、4,800万円。
- ⑧諸収入
歳計現金の運用利子、資源回収物の売却及び発電電力の売却その他の収入、3,779万4千円。
- ⑨組合債
リサイクルセンターの建設工事の借入金、5億4,430万円。この借入金は、2億4,430万円が国の年金積立金の還元融資を、3億円が東京都区市町村振興基金の融資を受ける予定です。

- ①議会費
組合議会の運営経費、908万1千円。
- ②総務費
組合内の共通した事務の経費、4億557万8千円。
- ③ごみ処理費
ごみ処理施設の第一・第二工場及び粗大ごみ処理施設など、施設を維持管理する経費及び不燃物処理・資源化施設（リサイクルセンター）の建設工事費等、21億4,802万2千円。
- ④し尿処理費
し尿処理施設の運転など、施設を維持管理する経費、1億9,737万4千円。
- ⑤環境対策費
温水プール施設など、体育施設を維持管理する経費。ごみ・し尿等の処理施設に関する分析などの経費、1億6,865万4千円。
- ⑥公債費
ごみ・し尿の処理施設及び体育施設を建設した際の借入金の返済経費、3億6,519万5千円。
- ⑦予備費
施設に関する臨時的な費用及びその他の費用、6,427万9千円。

歳出予算



enjoy sports

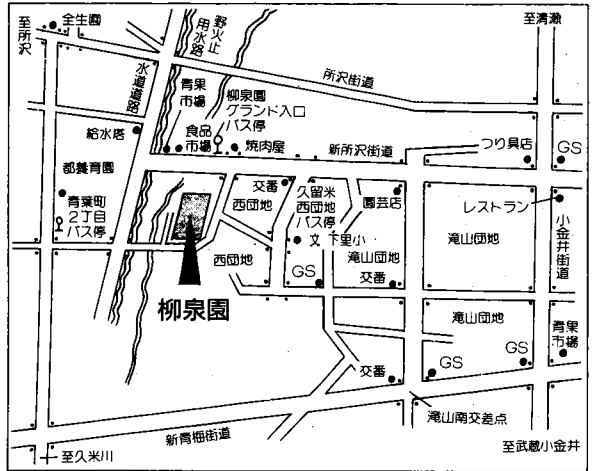
エンジョイスポーツ

体育施設

柳泉園の体育施設は、四市にお住まい、お勤めの方なら一本でどなたでも利用できます。野球場、テニスコート、温水プール、スポーツサウナ、トレーニング室など魅力いっぱいのスポーツ設備があります。さわやかなリフレッシュ・タイムを、柳泉園でどうぞ。

☎0424-73-3121

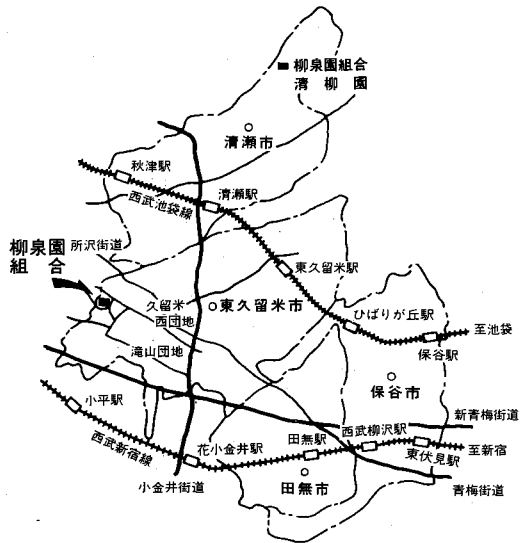
へ申し込んで下さい。



Message
組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに約10,000円かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用等を加えると1トン処理するのに約15,000円かかってしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。
また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いします。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



管内人口等	(平成5年8月1日)
世帯数	137,019世帯
	(前年比1,360世帯増)
人口	353,308人
	(前年比37万人増)